



2018年4月 フジ・メディア・ホールディングスは 国連グローバル・コンパクトに署名しました

■ 国連グローバル・コンパクトとは？

企業は利益を追求する以前に、良き市民であるべきという考え方のもと、責任のある「企業市民」として、世界で起きている様々な問題を解決するために行動することが求められています。国連グローバル・コンパクトは、国連が提唱する人権・労働・環境・腐敗（強要や贈収賄など）防止に関する普遍的な10原則を守ることを「約束」するものです。1999年の世界経済フォーラム「ダボス会議」でコフィー・アナン国連事務総長（当時）が提唱したのがはじまりで、今では世界約160カ国で約1万5,000の団体（そのうち企業が約10,100）が署名しています。日本国内では、2019年3月時点で約300の企業・団体が署名しています。

■ 国連グローバル・コンパクトの10原則

- 原則1 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである
- 原則2 企業は、自らが人権侵害に加担してはならない
- 原則3 企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである
- 原則4 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである
- 原則5 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである
- 原則6 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである
- 原則7 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである
- 原則8 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである
- 原則9 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである
- 原則10 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

■ 10原則についての詳細はこちら <http://www.ungcn.org/gc/principles/index.html>

■ フジテレビがSDGsメディア・コンパクトに署名

なお、フジ・メディア・ホールディングスの中核子会社（株）フジテレビジョンは、2018年12月に※SDGsメディア・コンパクトに署名し、貧困や不平等、気候変動など「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の課題解決にむけ、メディアとして番組等を通じて現状を「伝える」ことで、課題解決を促進させ、世界を「変える」きっかけづくりに努めています。

[SDGsに取り組む上でのフジテレビCSRスローガン]



※「SDGメディア・コンパクト」とは、世界中の報道機関やエンターテインメント企業に対し、その資源と創造力でSDGs達成のための活動を促すことを目的とした協力推進の枠組みで、国連が2018年9月に発足させたものです。これまでに約40のメディア企業や国際的な組織が参画しています。

■ SDGsについての詳細はこちら

https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31737/



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です